



安全データシート

Copyright, 2023, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	19-7114-2	版	8.00
発行日	2023/03/13	前発行日	2020/12/17

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

スコッチ・ブライト™ ドース 中性トイレクリナー

3M スtockナンバー

JN-3301-1500-5

7010687974

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

商業便器用クリーナー

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	コマーシャルソリューション技術部
電話番号	0570-012-388

2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体： 区分 3

急性毒性（経口）： 区分 4

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分 1

皮膚腐食性/刺激性： 区分 2

水生環境有害性 短期（急性）： 区分 1

水生環境有害性 長期（慢性）： 区分 1

GHSラベル要素

注意喚起語

危険

シンボル

炎 腐食性 感嘆符 環境

ピクトグラム



危険有害性情報

H226	引火性液体及び蒸気
H302	飲み込むと有害
H318	重篤な眼の損傷
H315	皮膚刺激
H410	長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

一般：

P102	子供の手の届かないところに置くこと。
P103	使用前にラベルをよく読むこと。
P101	医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルをもっていくこと。

安全対策

P210A	熱，高温のもの，火花，裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P240B	容器を接地しアースをとること。
P242A	火花を発生させない工具を使用すること。
P243A	静電気放電に対する措置を講ずること。
P241	防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。
P270	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P264	取扱後はよく洗うこと。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P303 + P361 + P353A	皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。
P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P310	直ちに医師に連絡すること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
P330	口をすすぐこと。
P321	特別な処置が必要である（このラベルの説明を見よ）。
P370 + P378G	火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。
P391	漏出物を回収すること。

廃棄

P501

内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
水	7732-18-5	30 - 40
α -ヒドロ- ω -ヒドロキシーポリ (オキシ-1, 2-エタンジイル)	25322-68-3	10 - 20
ジメチルテトラデシルアミンオキサイド	3332-27-2	5.0 - 15
オレイルジメチルアミンオキシド	14351-50-9	5.0 - 15
トリアルキルアミンオキサイド	7128-91-8	0 - 15
グリセリン	56-81-5	1.0 - 10
2-(2-エチルヘキシルオキシ)エタノール	1559-35-9	1.0 - 5.0
ポリオキシエチレン水添ヒマシ油	61788-85-0	1.0 - 5.0
ペパーミントオイル	8006-90-4	0 - 1.0
2-メトキシメチルエトキシプロパノール	34590-94-8	6.1
エタノール	64-17-5	4.8
ラウリルジメチルアミンオキサイド	1643-20-5	5.7

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重大な症状や影響はない。毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

消火作業者の保護

水は消火には効果的ではないが、火炎にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐために使用する。 ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。 熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。 火花を発生させない工具を使用すること。 新鮮な空気ですその場所を換気する。 大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。 警告！モーターは着火源になる。漏洩個所に発生している引火性のガスや蒸気の着火源となり、燃焼・爆発を起こす可能性がある。 物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。 大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。 アルコールやアセトンのような水溶性溶剤に適した泡消火薬剤で漏洩箇所を覆う。 ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。 吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。 出来る限り多くの漏洩物を防爆仕様の道具を使って回収する。 金属製の容器に収納する。 水で残さを清浄する。 容器を密封する。 回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

工業用又は業務用。消費者用用途への販売、使用禁止。 熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。 火花を発生させない工具を使用すること。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。 眼、皮膚、衣類につけないこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱後はよく洗うこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 環境への放出を避けること。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。 静電気帯電防止靴あるいは適切にアースした靴を着用する。 着火の危険を最小限にするために、この製品を使用する作業のために適切な電氣的分類を決定し、引火性気体の蓄積

を避けるために、特定の局所排気装置を選定してください。 輸送中に静電気蓄積の可能性がある場合、容器を接地し、アースを取る。 蒸気が地上や床をはって着火源に流れ、遠距離引火することがある。

保管

換気の良い場所で保管すること。 涼しいところに置くこと。 容器を密閉しておくこと。 日光から遮断すること。 熱から離して保管する。 酸から離して保管する。 酸化剤から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
α-ヒドロキシ-β-ヒドロキシ-ポリ (オキシ-1, 2-エタンジール)	25322-68-3	AIHA	TWA : 10 mg/m ³	
2-メトキシメチルエトキシプロパノール	34590-94-8	ACGIH	TWA:50 ppm;STEL:150 ppm	
エタノール	64-17-5	ACGIH	STEL : 1000 ppm	A3: 動物発がん性物質

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

ppm : 百万分率

mg/m³ : ミリグラム/立方メートル

CEIL : 天井値

ばく露防止策

設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。 防爆換気装置を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。

全面マスク

間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。 注: 保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。

推奨される手袋の材質 : 樹脂ラミネート。

スプレーや、ハネの多い作業など、ばく露の可能性が高い場合には、つなぎ服などの保護衣を使用する。ばく露評価に基づき、適切な保護具を着用する。保護衣の材質として次のものを推奨する。ポリマーラミネート製エプロン

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：

半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状态：	水溶性液体
色	赤色
臭い	ミント
臭いの閾値	データはない。
pH	8
融点・凝固点	データはない。
沸点、初留点及び沸騰範囲	データはない。
引火点	42.6 °C [試験方法：クローズドカップ法]
蒸発速度	データはない。
引火性（固体、ガス）	適用しない
燃焼点（下限）	データはない。
燃焼点（上限）	データはない。
蒸気圧	データはない。
蒸気密度/相対蒸気密度	データはない。
密度	データはない。
比重	0.99 [参照基準：水=1]
溶解度	完全に溶解する
溶解度（水以外）	データはない。
n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	20 mPa-s
揮発性有機化合物	データはない。
揮発分	データはない。
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	データはない。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

火花ないし炎熱。

混触危険物質

強酸
強酸化性物質

危険有害な分解物

物質	条件
炭化水素類	特段の規定はない。
一酸化炭素	特段の規定はない。
二酸化炭素	特段の規定はない。

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合

気道刺激：咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。

皮膚に付着した場合

皮膚刺激：発赤、腫脹、かゆみ、乾燥、水疱、ひび、痛みなどの症状。

長時間又は反復ばく露した場合：

皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応：発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

眼に入った場合

化学物質による眼の葉傷（化学性腐蝕）：角膜のかすみ、化学熱傷、痛み、催涙、潰瘍、視力障害又は視力損失などの症状。

飲み込んだ場合

飲み込むと有害 胃腸への刺激：腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

追加情報

この製品はエタノールを含有する。アルコール飲料およびそれらに含有するエタノールは、IARCの調査でヒトに発がん性があると報告されている。またアルコール飲料には発生毒性および肝毒性がある。本製品の通常使用においては発がん、発生毒性、肝毒性の発現は予想されない。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い場合があります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	吸入－粉塵／ミスト(4時間)		利用できるデータが無い：ATEで計算。12.5 mg/l
製品全体	経口摂取		データ無し：計算された急性毒性推定値 >300 - =2,000 mg/kg
α－ヒドロ－ω－ヒドロキシ－ポリ（オキシ－1，2－エタンジイル）	皮膚	ウサギ	LD50 > 20,000 mg/kg
α－ヒドロ－ω－ヒドロキシ－ポリ（オキシ－1，2－エタンジイル）	経口摂取	ラット	LD50 32,770 mg/kg
トリアルキルアミノオキサイド	経口摂取		LD50 推定値 300 - 2,000 mg/kg
ジメチルテトラデシルアミノオキサイド	経口摂取	ラット	LD50 > 1,495 mg/kg
ジメチルテトラデシルアミノオキサイド	皮膚	類似化合物	LD50 > 2,000 mg/kg
ラウリルジメチルアミノオキサイド	皮膚	類似化合物	LD50 > 2,000 mg/kg
ラウリルジメチルアミノオキサイド	経口摂取	類似化合物	LD50 1,064 mg/kg
オレイルジメチルアミノオキシド	経口摂取		LD50 推定値 300 - 2,000 mg/kg
2－メトキシメチルエトキシプロパノール	皮膚	ウサギ	LD50 > 19,000 mg/kg
2－メトキシメチルエトキシプロパノール	吸入－粉塵／ミスト（4時間）	ラット	LC50 > 50 mg/l
2－メトキシメチルエトキシプロパノール	経口摂取	ラット	LD50 5,180 mg/kg
エタノール	皮膚	ウサギ	LD50 > 15,800 mg/kg
エタノール	吸入－蒸気（4時間）	ラット	LC50 124.7 mg/l
エタノール	経口摂取	ラット	LD50 17,800 mg/kg
グリセリン	皮膚	ウサギ	LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
グリセリン	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
2－（2－エチルヘキシルオキシ）エタノール	皮膚	ウサギ	LD50 2,120 mg/kg
2－（2－エチルヘキシルオキシ）エタノール	経口摂取	ラット	LD50 3,080 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
α－ヒドロ－ω－ヒドロキシ－ポリ（オキシ－1，2－エタンジイル）	ウサギ	わずかな刺激
ジメチルテトラデシルアミノオキサイド	ウサギ	刺激物
ラウリルジメチルアミノオキサイド	類似化合物	刺激物

2-メトキシメチルエトキシプロパノール	ヒト及び動物	刺激性なし
エタノール	ウサギ	刺激性なし
グリセリン	ウサギ	刺激性なし

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
α-ヒドロ-ω-ヒドロキシ-ポリ（オキシ-1，2-エタンジイル）	ウサギ	軽度の刺激
ジメチルテトラデシルアミンオキサイド	ウサギ	腐食性
ラウリルジメチルアミンオキサイド	類似化合物	腐食性
2-メトキシメチルエトキシプロパノール	ウサギ	軽度の刺激
エタノール	ウサギ	激しい刺激
グリセリン	ウサギ	刺激性なし
ポリオキシエチレン水添ヒマシ油	ウサギ	刺激性なし

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
α-ヒドロ-ω-ヒドロキシ-ポリ（オキシ-1，2-エタンジイル）	モルモット	区分に該当しない。
ジメチルテトラデシルアミンオキサイド	類似化合物	区分に該当しない。
ラウリルジメチルアミンオキサイド	モルモット	区分に該当しない。
2-メトキシメチルエトキシプロパノール	ヒト	区分に該当しない。
エタノール	ヒト	区分に該当しない。
グリセリン	モルモット	区分に該当しない。

呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
α-ヒドロ-ω-ヒドロキシ-ポリ（オキシ-1，2-エタンジイル）	In vitro	変異原性なし
α-ヒドロ-ω-ヒドロキシ-ポリ（オキシ-1，2-エタンジイル）	In vivo	変異原性なし
ジメチルテトラデシルアミンオキサイド	In vitro	変異原性なし
ラウリルジメチルアミンオキサイド	In vitro	変異原性なし
2-メトキシメチルエトキシプロパノール	In vitro	変異原性なし
エタノール	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
エタノール	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
α-ヒドロ-ω-ヒドロキシ-ポリ（オキシ-1，2-エタンジイル）	経口摂取	ラット	発がん性なし
エタノール	経口摂取	多種類の動物	陽性データはあるが、分類には不十分。

		種	
グリセリン	経口摂取	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
α-ヒドロ-ω-ヒドロキシーポリ (オキシ-1, 2-エタンジイル)	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1, 125 mg/kg/日	妊娠期間中
α-ヒドロ-ω-ヒドロキシーポリ (オキシ-1, 2-エタンジイル)	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 5699 +/- 1341 mg/kg/日	5 日
α-ヒドロ-ω-ヒドロキシーポリ (オキシ-1, 2-エタンジイル)	特段の規定はない。	生殖・発生毒性の区分に該当しない。		NOEL 該当なし	
α-ヒドロ-ω-ヒドロキシーポリ (オキシ-1, 2-エタンジイル)	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	マウス	NOAEL 562 mg/animal/day	妊娠期間中
2-メトキシメチルエトキシプロパノール	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 1.82 mg/l	器官発生期
エタノール	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 38 mg/l	妊娠期間中
エタノール	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 5, 200 mg/kg/日	交配前および妊娠中。
グリセリン	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2, 000 mg/kg/日	2 世代
グリセリン	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2, 000 mg/kg/日	2 世代
グリセリン	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2, 000 mg/kg/日	2 世代

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
α-ヒドロ-ω-ヒドロキシーポリ (オキシ-1, 2-エタンジイル)	吸入した場合	呼吸器への刺激	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1.008 mg/l	2 週
ジメチルテトラデシルアミンオキサライド	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 非該当	
ラウリルジメチルアミンオキサライド	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 非該当	
2-メトキシメチルエトキシプロパノール	皮膚	中枢神経系の抑制	区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 2, 850 mg/kg	
2-メトキシメチルエトキシプロパノール	吸入した場合	中枢神経系の抑制	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 3.07 mg/l	7 時間
2-メトキシメチルエトキシプロパノール	経口摂取	中枢神経系の抑制	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 5, 000 mg/kg	
エタノール	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	LOAEL 9.4 mg/l	非該当
エタノール	吸入した場合	中枢神経系の抑制	区分に該当しない。	ヒト及び動物	NOAEL 非該当	
エタノール	経口摂取	中枢神経系の抑制	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 非該当	

エタノール	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	イヌ	NOAEL 3,000 mg/kg	
-------	------	---------	-----------	----	-------------------	--

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
α-ヒドロxy-β-ヒドロキシポリ (オキシ-1, 2-エタンジール)	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,008 mg/l	2 週
α-ヒドロxy-β-ヒドロキシポリ (オキシ-1, 2-エタンジール)	経口摂取	腎臓および膀胱 心臓 内分泌系 造血器系 肝臓 神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 5,640 mg/kg/day	13 週
ラウリルジメチルアミンオキサライド	経口摂取	眼	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似化合物	NOAEL 88 mg/kg/day	90 日
2-メトキシメチルエトキシプロパノール	皮膚	腎臓および膀胱 心臓 内分泌系 造血器系 肝臓 呼吸器系	区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 9,500 mg/kg/day	90 日
2-メトキシメチルエトキシプロパノール	吸入した場合	心臓 造血器系 肝臓 免疫システム 神経系 眼 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1.21 mg/l	90 日
2-メトキシメチルエトキシプロパノール	経口摂取	肝臓 心臓 内分泌系 骨、歯、爪及び/又は毛髪 造血器系 免疫システム 神経系 腎臓および膀胱 呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	28 日
エタノール	吸入した場合	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ウサギ	LOAEL 124 mg/l	365 日
エタノール	吸入した場合	造血器系 免疫システム	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 25 mg/l	14 日
エタノール	経口摂取	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 8,000 mg/kg/day	4 月
エタノール	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	イヌ	NOAEL 3,000 mg/kg/day	7 日
グリセリン	吸入した場合	呼吸器系 心臓 肝臓 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 3.91 mg/l	14 日
グリセリン	経口摂取	内分泌系 造血器系 肝臓 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 10,000 mg/kg/day	2 年

誤えん有害性

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本 SDS の 1 ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション 2 で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことが

あります。 セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

GHS 水生環境有害性（急性）区分1：水生生物に非常に強い毒性。

水生環境有害性 長期（慢性）

GHS 水生環境有害性 長期（慢性）区分1：長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
α-ヒドロキシ-ω-ヒドロキシポリ（オキシ-1, 2-エタンジイル）	25322-68-3	液状化	実験	該当なし	EC50	>1,000 mg/l
α-ヒドロキシ-ω-ヒドロキシポリ（オキシ-1, 2-エタンジイル）	25322-68-3	アトランティックサーモン	実験	96 時間	LC50	>1,000 mg/l
ジメチルテトラデシルアミノオキサイド	3332-27-2	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	0.18 mg/l
ジメチルテトラデシルアミノオキサイド	3332-27-2	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	2.6 mg/l
ジメチルテトラデシルアミノオキサイド	3332-27-2	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	LC50	2.4 mg/l
ジメチルテトラデシルアミノオキサイド	3332-27-2	ファットヘッドミノウ（魚）	類似コンパウンド	302 日	NOEC	0.42 mg/l
ジメチルテトラデシルアミノオキサイド	3332-27-2	ミジンコ	類似コンパウンド	21 日	NOEC	0.7 mg/l
ジメチルテトラデシルアミノオキサイド	3332-27-2	緑藻類	実験	72 時間	ErC10	0.032 mg/l
ジメチルテトラデシルアミノオキサイド	3332-27-2	バクテリア	類似コンパウンド	18 時間	EC10	24 mg/l

オレイルジメ チルアミノ キシド	14351-50-9	緑藻類	類似コンパウ ンド	72 時間	ErC50	0.14 mg/l
トリアルキル アミノキサ イド	7128-91-8	バクテリア	実験	16.25 時間	EC50	>1,000 mg/l
トリアルキル アミノキサ イド	7128-91-8	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	0.11 mg/l
トリアルキル アミノキサ イド	7128-91-8	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	0.65 mg/l
トリアルキル アミノキサ イド	7128-91-8	ゼブラフィッ シュ	実験	96 時間	LC50	0.6 mg/l
グリセリン	56-81-5	バクテリア	実験	16 時間	NOEC	10,000 mg/l
グリセリン	56-81-5	ニジマス	実験	96 時間	LC50	54,000 mg/l
グリセリン	56-81-5	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	1,955 mg/l
2- (2-エ チルヘキシル オキシ) エタ ノール	1559-35-9	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	72.9 mg/l
2- (2-エ チルヘキシル オキシ) エタ ノール	1559-35-9	ニジマス	実験	96 時間	LC50	67.3 mg/l
2- (2-エ チルヘキシル オキシ) エタ ノール	1559-35-9	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	45.5 mg/l
2- (2-エ チルヘキシル オキシ) エタ ノール	1559-35-9	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	25.3 mg/l
ポリオキシエ チレン水添ヒ マシ油	61788-85-0	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l
ポリオキシエ チレン水添ヒ マシ油	61788-85-0	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
ペパーミント オイル	8006-90-4	該当なし	分類にデータ が利用できな い、あるいは 不足してい る。	該当なし	該当なし	該当なし
2-メトキシ メチルエトキ シプロパノー	34590-94-8	バクテリア	実験	18 時間	EC10	4,168 mg/l

ル						
2-メトキシ メチルエトキ シプロパノール	34590-94-8	ファットヘッド ミノウ (魚)	実験	96 時間	LC50	>10,000 mg/l
2-メトキシ メチルエトキ シプロパノール	34590-94-8	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	>969 mg/l
2-メトキシ メチルエトキ シプロパノール	34590-94-8	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	1,919 mg/l
2-メトキシ メチルエトキ シプロパノール	34590-94-8	緑藻類	実験	72 時間	EC10	133 mg/l
エタノール	64-17-5	ファットヘッド ミノウ (魚)	実験	96 時間	LC50	14,200 mg/l
エタノール	64-17-5	魚	実験	96 時間	LC50	11,000 mg/l
エタノール	64-17-5	緑藻類	実験	72 時間	EC50	275 mg/l
エタノール	64-17-5	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	5,012 mg/l
エタノール	64-17-5	緑藻類	実験	72 時間	ErC10	11.5 mg/l
エタノール	64-17-5	ミジンコ	実験	10 日	NOEC	9.6 mg/l
ラウリルジメ チルアミンオ キサイド	1643-20-5	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	0.11 mg/l
ラウリルジメ チルアミンオ キサイド	1643-20-5	メダカ	実験	96 時間	LC50	30 mg/l
ラウリルジメ チルアミンオ キサイド	1643-20-5	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	2.2 mg/l
ラウリルジメ チルアミンオ キサイド	1643-20-5	ファットヘッド ミノウ (魚)	実験	302 日	NOEC	0.42 mg/l
ラウリルジメ チルアミンオ キサイド	1643-20-5	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	0.0049 mg/l
ラウリルジメ チルアミンオ キサイド	1643-20-5	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.36 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
α-ヒドロ	25322-68-3	実験 生分解	28 日	生物学的酸素	53 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI(1)

ω-ヒドロキシ-ポリ (オキシ-1, 2-エタンジール)		性		要求量		
ジメチルテトラデシルアミンオキサライド	3332-27-2	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	67.5 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素
ジメチルテトラデシルアミンオキサライド	3332-27-2	類似コンパウンド 生分解性	21 日	二酸化炭素の発生	69.9 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 303A - 模擬好気性下
ジメチルテトラデシルアミンオキサライド	3332-27-2	類似コンパウンド 加水分解		加水分解性半減期 (pH7)	>1 年 (t 1/2)	OECD 111 pHに応じた加水分解
オレイルジメチルアミンオキシド	14351-50-9	モデル 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	70 %BOD/ThOD	Catalogic™
オレイルジメチルアミンオキシド	14351-50-9	類似コンパウンド 生分解性	11 日	DOC (溶存有機炭素) 残留量	100 DOC除去%	OECD 301A - DOC Die Away 試験
トリアルキルアミンオキサライド	7128-91-8	実験 生分解性	11 日	DOC (溶存有機炭素) 残留量	100 DOC除去%	OECD 301A - DOC Die Away 試験
グリセリン	56-81-5	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	63 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)
2- (2-エチルヘキシルオキシ) エタノール	1559-35-9	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	90.35 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素
ポリオキシエチレン水添ヒマシ油	61788-85-0	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	80-90 %BOD/ThOD	
ペパーミントオイル	8006-90-4	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
2-メトキシメチルエトキシプロパノール	34590-94-8	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	75 %BOD/ThOD	OECD 301F
2-メトキシメチルエトキシプロパノール	34590-94-8	実験 水生固有生分解性	13 日	DOC (溶存有機炭素) 残留量	94 DOC除去%	OECD 302B Zahn-Wellens/EVPA試験
エタノール	64-17-5	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	89 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)
ラウリルジメチルアミンオキサライド	1643-20-5	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	95.27 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
α-ヒドロキシ-β-ヒドロキシポリ (オキシ-1, 2-エタンジイル)	25322-68-3	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	2.3	
ジメチルテトラデシルアミンオキサイド	3332-27-2	推定値 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	2.69	
オレイルジメチルアミンオキシド	14351-50-9	モデル 生態濃縮		生物濃縮係数	950	Catalogic™
トリアルキルアミンオキサイド	7128-91-8	モデル 生態濃縮		生物濃縮係数	5700	Catalogic™
グリセリン	56-81-5	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	-1.76	
2-(2-エチルヘキシルオキシ) エタノール	1559-35-9	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	2.86	OECD107 log Kow フラスコ振騰法
ポリオキシエチレン水添ヒマシ油	61788-85-0	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	-0.76	
ペパーミントオイル	8006-90-4	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
2-メトキシメチルエトキシプロパノール	34590-94-8	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	0.004	OECD107 log Kow フラスコ振騰法
エタノール	64-17-5	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	-0.35	
ラウリルジメチルアミンオキサイド	1643-20-5	推定値 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	1.85	

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号及び品名： 1 9 9 3 その他の引火性液体

輸送分類（IMO）：3 引火性液体

輸送分類（IATA）：3 引火性液体

容器等級：III

国内規制がある場合の規制情報

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査（リスクアセスメント）すべき物（法第 57 条の 3）

労働安全衛生法：施行令 1 8 条の 2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法：施行令 1 8 条有害物質（表示物質）

消防法：第四類第二石油類水溶性

船舶安全法、航空法：引火性液体類

化管法：第 1 種指定化学物質

海洋汚染防止法：環境有害物質

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2024年3月31日まで	2024年4月1日以降
2-メトキシメチルエトキシプロパノール	1-(2-メトキシ-2-メチルエトキシ)-2-プロパンジオール	該当	該当
エタノール	エタノール	該当	該当

化管法

成分	政令名称	管理番号	分類（2023年3月31日まで）	分類（2023年4月1日以降）
ラウリルジメチルアミンオキシサイド	N,N-ジメチルドデシルアミン N-オキシサイド	224	第1種指定化学物質	第1種指定化学物質

16. その他の情報

改訂情報

セクション 1 : 担当部門の電話番号 情報修正.
 セクション 1 : 担当部門名 情報修正.
 セクション 1 : 製品名 情報修正.
 セクション 1 : 製品用途 情報の追加.
 セクション 1 : SAP Material Number 情報の追加.
 セクション 2 : GHS分類 情報修正.
 セクション 2 : 健康有害性 情報修正.
 セクション 2 : 物理化学的危険性のステートメント 情報修正.
 セクション 2 : 注意書き - 一般 情報修正.
 セクション 2 : 注意書き - 安全対策 情報修正.
 セクション 2 : 注意書き - 応急措置 情報修正.
 セクション 3 : 成分表 情報修正.
 セクション 4 : 毒性学的影響情報 情報の削除.
 セクション 5 : 火災時情報 (消火剤) 情報修正.
 セクション 6 : 事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正.
 セクション 7 : 貯蔵情報 情報修正.
 セクション 7 : 取り扱い時の安全注意喚起情報 情報修正.
 セクション 8 : mg/m³ 記号 情報の追加.
 セクション 8 : 作業環境許容値 情報修正.
 セクション 8 : 保護具 - 眼 情報修正.
 セクション 8 : 保護具 - 吸入 情報修正.
 セクション 8 : ppm 記号 情報の追加.
 セクション 8 : 呼吸器保護 - 推奨する呼吸保護具の情報 情報修正.
 セクション 9 : 燃焼性 (固体、ガス)情報 情報修正.
 セクション 11 : 急性毒性の表 情報修正.
 セクション 11 : 生殖細胞変異原性の表 情報修正.
 セクション 11 : 健康影響情報 (追加情報) 情報の削除.
 セクション 11 : 健康影響情報 (飲み込んだ場合) 情報修正.
 セクション 11 : 生殖毒性の表 情報修正.
 セクション 11 : 重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正.
 セクション 11 : 皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.
 セクション 11 : 皮膚感作性の表 情報修正.
 セクション 11 : 標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
 セクション 11 : 標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正.
 セクション 12 : 水生生物への慢性毒性情報 情報修正.
 セクション 12 : 成分生態毒性情報 情報修正.
 セクション 12 : 残留性および分解性の情報 情報修正.
 セクション 12 : 生態濃縮性情報 情報修正.
 セクション 14 : 輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正.
 セクション 15 : 労働安全衛生法の表 情報の追加.
 セクション 15 : 法規名 - 表 情報の削除.
 セクション 15 : 化管法の表 情報の追加.
 セクション 15 : 適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項 : この安全データシート (SDS) の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。
 (法令で要求される場合を除く) 本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合

わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。